

北陸産業競争力強化戦略の概要

北陸地域の概要

【産業の特徴】○産業・建設機械等の一般機械、アルミサッシ等の金属製品、電子部品や繊維産業など
日本海側随一の産業が集積

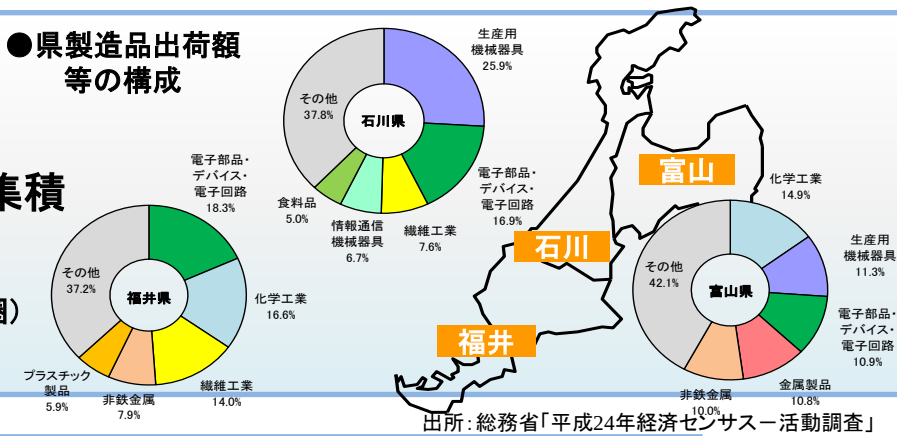
○医薬品、発酵食品、機能性繊維等ライフサイエンス関連産業やアルミ等の金属加工関連産業が集積

○高い技術力を有するニッチトップ企業が数多く存在

【地理的特徴】○東京・大阪・名古屋の三大都市圏と環日本海諸国を結ぶ交通の結節点に位置（三大都市圏から300～400km圏）

○北陸新幹線の開通（2015年春予定）により、首都圏とのアクセスが向上

●県製造品出荷額等の構成



基本的な考え方

(1) 北陸地域の連携を深める

(2) 強みや成長シーズを国と地方で連携して大きく育てイノベーションを起こす ～ ライフサイエンス産業や高機能新素材産業の一大集積地へ ～

(3) 産業発展の環境整備を進める ～ 国土と人・企業の強靱化～

北陸地域をライフサイエンス・高機能新素材関連産業の一大集積地へ

① 予防・早期診断にも重きを置いた ライフサイエンスの一大生産拠点に

■ 現状

○北陸3県の医薬品・医療機器生産金額は7,687億円で全国の8.7%。

○北陸3県の産学官金37団体が連携し、北陸ライフサイエンスクラスター事業を実施

○特色ある大学群が集積し、知のネットワークを形成

■ 今後の取組み

- バイオ医薬品、予防のための機能性食品の開発、漢方の産業化、北陸のものづくり技術を活かした医療機器等の開発を促進
- このために臨床試験・治験体制や研究開発支援体制を整備
- 高齢化の進展に伴う在宅医療や介護に対応する産業の創出

② 成長分野に部素材を供給する 世界的な高機能新素材関連産業の集積地に

■ 現状

○北陸地域は、繊維技術から機械加工技術まで、川上から川下まで幅広い分野におけるイノベーションが必要となる高機能新素材（炭素繊維材料、マグネシウム・チタン等の軽金属材料、ナノ材料）の分野の適地

■ 今後の取組み

- 高機能新素材加工技術を様々な成長分野へと結び付け展開
- 欧州を見本に川上・川中・川下を結びつけるためのネットワーク構築を図るとともに、産学官による戦略的な研究開発・人材育成を推進

③ 国土と人の強靱化や地域資源の活用などにより力強い「北陸経済圏」に

■ 現状

○北陸新幹線、高規格道路、港湾等のインフラ整備や国内トップクラスの子育て・教育・住環境

○多くの観光資源や伝統工芸品などの豊富な地域資源が存在

○世界トップクラスのシェアを有するものづくり企業や老舗企業が多数存在

■ 今後の取組み

- 日本海国土軸形成に向けたインフラの整備やU・Iターンの促進、企業の本社機能の誘致
- 新幹線開業効果や地域資源を活かした広域観光の推進
- 中小・小規模企業の活性化や国内外への販路開拓を推進

④

地方に目を向けた成長戦略の改定を（国への提言）